



FATE ZERO KIREI KOTOMINE KIRITSUGU EMIYA/R18 ADULT ONLY

# DRIFTERS

SOURCEPLAY  
2012 Presents

びんかん



剃毛の時間だ  
衛宮切嗣

手動は二たかり

まほうのまわ



変態は貴様だ  
衛宮切嗣

私は貴様のその  
見苦しく  
野暮ったらしい  
無精髭を  
刈り取りに来たのだ

え？

…え？ 本当に？

それだけ  
本

アノモ  
イハントか  
はれま

ガチムチ神父に  
変態剃毛プレイ  
される  
汚される  
犯されるううう

助けて  
アイリ

ギョウゴウ

ひくわー

むしろ  
シェーバーを  
見て「下の毛  
イコール  
剃毛ブレイとか  
お前DMなんじゃ  
ないのか？」

君に引かれると  
誰に何されるより  
傷つくなホント

まあ貴様が  
「やりたくて  
仕方ないケレイイ♡」  
と言うのならば  
仕方がない、  
後ほどにそれを  
控えるとして

言っつてねえよ

なんだそのケレイイって  
話尾!!!

貴様のその  
無精………  
はつきり言っつて  
見るに耐えん

これを機に  
貴様の生活態度ごと  
改めるつもりで  
剃らせてもらうぞ

なんで  
くっついてんだよ

関係ない  
たろ君に

まほうのまみ

もわ

もわ

わ

ふ、  
くすぐった

……人にされるのは  
初めてか？

……まあね、刃物だ  
狙われやすいし、  
理容院には行かない  
から

初めてか…

強調するなよ  
神父様

カオが怖いよ

あつぎるよ

×みせんならいた!

男相手に  
肌理がどうか  
言われてもなあ

君はいつでも  
かっちりと  
しているね

…不摂生が  
祟る肌だ

肌理はいいのに  
勿体のない  
ことだ

私が貴様のような  
無様を晒すのは  
そうそうないだろうな

…  
びび



できた

…  
が

……  
好き勝手  
やっという  
最初の一言が  
それなのかい  
……

気色が  
悪いな

「よくかきわすれるの」まんま  
セがわかないでさおれい  
(P)



もう僕は元々で  
いいんだよ!!

イリヤに時々  
髪がウザイとか  
痛いとかキライとか  
言われるけどツツ……  
いいのこれで!!  
もうクセになってるし!!

まあまあ待つがいい  
衛宮切嗣

上が駄目なら  
下がある、  
貴様の希望を  
叶えようではないか

え?

ちよっ

あっ……

元々おれ以上  
のびにくい  
体質だ





さて  
衛宮切嗣

やめろ

今回からは  
パイプも導入しよう。  
これからは毎日  
私が下の毛を  
刈り取ってやる

やめろ  
帰れ

いんげんや  
やめろ

剃られて  
たま子か：ッ

ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ





泥の哭<sup>な</sup>く  
ゆめ  
悪夢を見る

P r i d e r e s s

……  
無様だな

衛宮切嗣

……  
言峰

衰弱した  
ものだ

ブザー代わりでしか  
ないとは言え、  
自分で仕掛けた結界の  
警報おとにも気付かず  
寝入っているとはな

来ていたのか  
……

14  
いつも  
毎晩  
いい夢を  
見ているからね

……  
あれを  
愉たのしめるならば  
今の貴様は  
此処ここにはいまい

ある戦争が  
災厄と共に幕を閉じ

殺した筈の仇敵が  
再び目の前に  
現れてから5年

もはや緩慢に  
死に続けるだけの  
僕の元に、  
この男は度々訪れる


：  
今回は  
随分と  
久し振りだね

外国での  
たのしみ  
異端狩りを餌に、  
また身長が伸びたん  
ないのかい？

： さあな

測っていないから  
知らんが  
： 私の『成長期』も  
じきに終わるだろう


：  
確信的だな、  
神父さん



この数年  
泥これと同じように  
私に娯楽を提供し続けた  
男がもうすぐ死ぬのだ

今後  
ろくな悦など、

期待  
できまいよ



朽ちゆく体に  
魔力を含ませ



指の沈まぬ身体を  
拓ひらきに  
かかる

突然に  
触れられた時は  
真意を  
測りかねたものの

唯一残された  
あの子  
士郎に  
危害が及ばぬならば、  
彼の要求は  
寛大ですらある

男は  
『死人の生き足掻く  
痴態を見せろ』  
と囁い

逢う度に  
その本質を  
開拓して  
いくようだった

……今日は少し  
毛並みが良いな

一日ぐらいは  
寿命が延びてい  
のではないか？

——呪いが  
いよいよ死期へと  
至る今になって

その手が  
この魂を  
悩ませている

くしゅ

……毛並みって  
いうなら  
君だろう

大型犬  
みたいだよ

綺礼は  
きみ

この男にとっては  
常人以上であるらしい、  
僕の『在り方』への  
憎しみと

男の愉しむ所でもある  
鬪り様さまだったはずの  
この行為は

初めの邂逅か  
ずっと、  
何故かひどく  
優しかった

……  
お前は  
静かな  
憂うれな  
される方を  
するのだな

……  
は



くぐぐぐ

—— 声もあげず  
歯も軋ませず

静かに目蓋だけ  
痙攣させて  
寝入って  
いたぞ

っん

チュル

ッ



ぐ

それは、  
…… また、

…… ずっと  
僕の寝顔を  
見守って  
いたのかい  
？



泥<sup>アレ</sup>の見せる  
呪いの悪夢<sup>ユメ</sup>に  
声もあげず  
耐える貌<sup>かお</sup>は中々に  
悦いものだった



お前の歪<sup>いびつ</sup>を  
間近で眺められなく  
なる時が来るのは  
寂しいものだ



……  
そうだね

それは  
僕もだよ

……  
言峰





近頃  
キスが増えた



………今  
それは  
関係が  
あるのか  
？

必要以上に  
僕の身を濡らし  
ゆるゆると  
行為を進める

……君、  
えりあし  
伸ばしたら  
似合いそうだな

っ、  
だっ、  
って、

きみの、  
髪……

けっこう  
触り心地いい、

から……

くじや、

は

ア、

ツ、

ぢや、

矛盾に  
悦ぶこの身は

……あ、

おそらく  
一番浅ましい

切嗣

は

……ん、

まふた  
目蓋を閉じれば  
今も  
この世全ての  
怨嗟を聴く

僕が冒した  
業への呪い

あらゆる醜悪、  
慟哭と憎しみ、  
果てのない絶望の夢

泣き叫ぶような  
アンリマユ  
泥の夢は

時おり  
この大きな  
迷い子の姿を  
思い出させる

僕が  
目を覚ます前、

君、  
泣いて  
なかったかい  
？

……なあ、

綺礼



.....

.....  
あれ  
妻のような  
事を言う

.....  
ああ、

君

そーいえば  
奥さん、  
居たん  
だっけね.....

.....  
っん

——  
何も語らず

何も  
識らずとも

ッ、

あ

破綻した  
愛し方が  
この男の  
『情』であることに  
気付いたのは

もう随分と  
前のことで

っあ、

ア、

…っん、

きれい……っ、

あ、

……い…

はあ



ん、

は、

…ア、

あ…

あっ、

あん、

あ………っ

僕を殺す  
泥でできた  
心臓で

おとこ  
哀れな求道者は  
矛盾の答を  
見つけることが  
できるのだろうか

泥の泣く夢を見る

この命の果てまで  
悪夢は続き

誰にも見えない  
黒い涙を

朽ち行く  
僕だけが  
識っていた

………  
いつまでも  
愚かだな

識ってしまったら  
心が動かされて  
しまうのは  
……悪い癖だ





# FATE ZERO

??:00:00

SOURCE PLAN  
ARA PRESENTS.